

ヘルメットで命を守ろう！

自転車乗車用ヘルメット着用促進動画コンテスト表彰式

石岡警察署と石岡地区交通安全協会は、自転車乗車用ヘルメットの着用促進を図るため「ヘルメット着用促進動画コンテスト」を開催し、動画を募集しました。石岡警察署管内の6校から8作品の応募があり、最優秀賞には石岡中学校の「チャリヘルやろうぜ」が選ばれました。動画を制作した石岡中2年生の渡邊唯桃さんは「ヘルメットを身に付けていたら安心だろうなという場面を2つ想定した。最優秀賞に選ばれて嬉しい」と話してくれました。



▲（後列左より）石岡地区交通安全協会会長 久保田英世様、石岡警察署署長 石津秀典様、（前列）最優秀賞に選ばれた石岡中学校の皆さん



▲（写真左より）八郷中学校3年小松崎秀太さん、土浦第五中学校2年飛田直輝さん

柔道の総本山で技を披露

八郷中小松崎さん・土浦五中飛田さん形演技大会で入賞

昨年11月に行われた「第15回形演技大会」に、八郷中3年生の小松崎秀太さんと、土浦五中2年生の飛田直輝さんが出場し、努力賞を受賞しました。柔道の形演技は、受と取の2人1組で行う競技です。一昨年に続く、2年連続の努力賞獲得を受け、八郷中の小松崎さんは「去年は受で大会に出場しましたが、今年は取での出場となったため、相手との合わせ稽古により集中して取り組みました」と受賞した感想をお話してくれました。

救命の連鎖で尊い命を救う

西尾真樹さん・川口幹夫さんへ人命救助により感謝状を贈呈

令和5年10月15日、石岡運動公園多目的広場をウォーキング中に卒倒し心肺停止状態になった70歳代男性に対して、適切な救命処置を施し、命を救ったとして、市長から感謝状を贈呈されました。

昨年夏に救命講習を受講したという西尾さん。男性に胸骨圧迫を実施しました。この間に、川口さんは119番通報し、AEDの手配を行いました。西尾さんが約1分間、胸骨圧迫をしたところで男性の心拍が再開。2人の見事な連携により男性の命が救われました。



▲（写真左より）鈴木淳司消防長、川口幹夫さん、西尾真樹さん、谷島市長



新入学児童の安全を守る 市内企業・団体から黄色い帽子 と防犯ブザーが寄贈

交通事故や犯罪から子どもたちを守るため、新ひたち野農協とやさと農協から黄色い帽子が、(株)常陽銀行から防犯ブザーが寄贈されました。

なお、黄色い帽子は今年からデザインが新しくなり、男女を問わず身に付けられるようになりました。

寄贈者・内訳

新ひたち野農業協同組合：黄色い帽子 357 個
やさと農業協同組合：黄色い帽子 161 個
株式会社常陽銀行石岡支店：防犯ブザー 570 個



【寄贈者・敬称略】

- ① 3月6日：
新ひたち野農業協同組合
細谷博之組合長
(写真右から3人目)
- ② 3月6日：
やさと農業協同組合
神生賢一組合長 (写真右)
- ③ 3月19日：株式会社常陽銀行
大原輝也石岡支店長 (写真右)



▲ (前列左より) 石岡梨部会 塚本副会長、岡野会長、県南農林事務所 入野所長、新ひたち野農協 細谷代表理事組合長、小林代表理事専務

新ひたち野農業協同組合梨部会 石岡市の梨が 茨城県銘柄産地指定に認定

今回の認定証交付式では、当市が県内有数の市場出荷型産地であり、高品質梨の差別化をはじめとした販売戦略を行っていることなどが評価されました。当市の梨は、第三者が選果員を務めることや、鳥や雹の被害を防ぐ多目的防災網の設置などにより、高い品質が維持されています。新ひたち野農協・細谷博之代表理事組合長は「後継者不足に対応するため、法人との連携など新たな手段を取り入れ、長期的な産地の継続と活性化に努めていきたい」とお話されました。

観光分野での活躍が期待 地域おこし協力隊に 金子誠司さんが就任

金子さんは、4月1日から「観光を中心とした魅力創造および発信分野（観光隊員）」において当市の地域おこし協力隊に就任しました。金子さんは美術大学を卒業し、筐体制作などの物づくりを得意としています。映像や3Dプリンターなどを使った作品の制作実績も多く、これまで様々なイベントの企画・制作などに関わってきました。今後はいばらきフラワーパークでの業務を中心に、観光隊員としてイベントの企画立案・運営などに従事します。



▲ (写真左より) 谷島市長、金子誠司さん